

第 185 回ペン川柳（お題＝稲） 令和 1 年 9 月 23 日

世話人：塚田 實（^だ々）

（*印は今月の互選五句、*は最優秀句）

1. 稲刈りを助けたばかりに腰痛め （不言＝岩崎） → 0 票

素直な川柳ですね。私も何回か稲刈りを経験しましたが、腰に多大の負担をかける重労働です。項番 21 に、やはり稲刈りの話がありますが、今は農業機械を使うことが多いようです。

2. 待ち遠し ICT での稲作が （零門＝松谷） → 0 票

ICT て何だという意見がありました。Information & Communication Technology（情報通信技術）の略です。ICT 化はかなり進んでいるように思います。稲の生育状況を人工衛星から監視して、情報を提供する会社もあるようです。

3. 稲むらの火教科書からなぜ消した （だし＝大野） → 0 票

元句は「稲束の火誰が教科書から消したのか」でした。「稲束の火」が良く分からなかったようです。1854 年の安政南海地震による津波をいち早く察知して、稲の束を松明にして住民に知らせたという話は有名です。1937 年から 10 年間国定国語教科書に掲載されました。この日（11 月 5 日）は「世界津波の日」に制定されました。元句は字余りが多かったので、上記のごとく変えてみました。

4. 穴あきの稲の硬貨も古希迎え （明迷＝八木） → 3 票

五円玉は 1948 年末に発行されたそうです。3 票を得ましたが、作者は項番 18 でも 3 票を得、席上評価で 18 番を優秀句に選びました。火酒さんも五円玉に思いを馳せて、項番 9 を詠みました。

5. お手植えの稲刈り祈る令和初 （井波＝稲宮） → 0 票

四月に上皇陛下が退位前に植えられた稲を、九月に天皇陛下が刈り取られました。伊勢神宮の神事等に使われるそうです。素直な川柳です。

- * 6. パワハラに負けず耐え抜き稲実る （^だ々＝塚田） → 2 票

昔はパワハラは今ほど騒がず当たり前だったような気がします。そこを耐え抜き頑張ったんですね。それでも稲が実るかどうかは、運任せです。

7. 暑過ぎて実りも怪しい稲穂かな （損得＝細谷） → 1 票

今年の暑さには参りました。稲だけではなく、多くの農作物にも影響を与えたようです。川柳としては今一つひねりが欲しいですね。

8. 秋の色黄金の稲にブルーシート （安兵衛＝山縣） → 1 票

最近の災害、特に千葉県は多大な被害を被り、屋根はブルーシートで覆われました。画家の作者は黄金と青の対比に思いを馳せました。

9. 稲知らぬ孫に小遣い五円玉 (火酒＝三春) → 1票
孫でも小遣い五円は少なすぎるか。五円は「ご縁」につながるとして神社・仏閣では人気がありますが、川柳子の中にはバーの美人から五円玉を貰ったとの話も。「ご縁がありますように」。高くついたら違いありません。
10. オレ晩稲 (おくて) 傘寿でようやく熟年期 (我々好＝浜田) → 1票
80歳で熟年なら、老年は遠いですね。熟年という言葉は壮年と老年の間を埋める新造語として、1960-70年代に作られた言葉だそうです。人生はまだまだこれからですね。
11. 姥捨や水田が良し陸稲 (おかぼ) より (晃二＝安藤) → 1票
千曲川に面した善光寺平には棚田が展開し、古くから田毎の月を詠んだ和歌などのほか、芭蕉や一茶などの俳句も有名です。水田でなければ月は映りませんね。
12. 稲妻が走り補聴器つと外し (酔雅＝西川) → 1票
稲光がすると、遅れて音が響きますね。補聴器を外す気持ちが良く分かります。「つと」という表現は作者の得意だと評判になりました。
13. 総統も訪ぬ象潟稲穂揺れ (晃二＝安藤) → 0票
2007年6月6日李登輝前総統が象潟を訪れたそうです。象潟は今は陸になっていますが、芭蕉が旅をしたときは松島のような景色だったそうです。「象潟や雨に西施がねぶの花」
14. 連投で西鉄救う稲尾様 (不言＝岩崎) → 0票
1958年の日本シリーズは三原監督率いる西鉄と水原監督率いる巨人の3年連続の戦いで、この年は巨人3連勝のあと西鉄が4連勝する歴史的シリーズでした。稲尾は7試合中6試合に登板し大活躍でした。地元の新聞では「神様 仏様 稲尾様」という見出しが躍ったようです。
15. 実るほど頭が高くなる稲穂かな (安兵衛＝山縣) → 0票
「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の本歌取りですね。本来そうありたいですが、最近では作者の川柳通り「頭が高くなる」になっているように見えるのが懸念されます。
- * 16. 老妻も稲刈る手には日焼け止め (損得＝細谷) → 2票
「農村や漁村を訪ねるテレビ番組で、貴重な稲作を支える老夫婦が、今や立派な邸宅に住み、標準語で若ものの里帰り呼びかけている」との説明がありました。あり得る光景ですね。
17. 稲妻は鉄火肌だよ感電死 (火酒＝三春) → 1票
「妻」と「鉄火」がキーワードですね。触ると感電死するよ。多くの仁侠映画の女優たちが思い浮かびますね。片肌脱いで、こちらを睨む、粋の世界ですね。
- * 18. 青田買い実らぬ稲もたまにあり (明迷＝八木) → 3票
企業側にとって厳しい就職戦線なので青田買いも増えているようです。最近では、入社後早い段階での離職率も増えていると言います。実るか実らぬかはなかなか分かりません。しかし、この川柳思わずふふっと同感してしまいますね。

19. (欠番)

- * 20. 稲光妻も隠した二段腹 (零門=松谷) → 4票
作者は奥様を題材に取り上げる機会が多いようです。念の為奥様は承知かと確認したところ、勿論承知との回答。思わずくすっと笑えます。文句なしに最優秀句に選ばれました。
21. 稲刈りも鎌にかわって車駆り (酔雅=西川) → 1票
まったくその通りですね。最近では手で稲刈りをしている人は見たことがありません。悠々と農業機械を運転しています。
- * 22. 稲渡来格差スタート弥生の世 (井波=稲宮) → 2票
作者は「縄文の狩猟採集の世界から、富を蓄積できる時代になり、ここが格差を生む原点だ」との指摘をしています。最近の研究では縄文時代から稲作が始まったとの研究もあります。
23. 締めはまた稲庭うどん飽きもせず (拿々=塚田) → 1票
ちょっと単純との批評を頂きましたが、世話人は銀座で飲んだ後、小腹が空いたときは、ラーメン屋ではなく、いつもうどん屋で稲庭うどんを食べていました。稲庭うどんを見ると、古き良き銀座を思い出します。
24. 再建に稲を盛り上げ手を合わせ (我々好=浜田) → 0票
よく分からないということで票が入りませんでした。しかし、よくよく考えると「稲を盛り上げ」は「稲盛」に通じ、JAL再建への感謝の念を詠ったかと思いが至りましたが、どうでしょうか。
25. 進次郎富山で稲刈り人気取り (だし=大野) → 0票
元句の下五句は「人気者」でしたが「人気取り」の方が面白いとして変更しました。小泉進次郎氏は父純一郎氏とともに輪島市白米千枚田の名誉会員になっています。ここは2011年に日本初の「世界農業遺産」に指定された棚田だそうです。
26. (欠番)

出席5名 = 山縣正靖 (安兵衛)、安藤晃二 (晃二)、平尾富男 (酔深)、三春 (火酒)、塚田實 (拿々)

欠席投句8名 = 岩崎洋一郎 (不言) 大野ただし (だし)、細谷博 (損得)、西川武彦 (酔雅)、浜田道雄 (我々好)、稲宮健一 (井波)、松谷隆 (零門)、八木信男 (明迷)、

9月以降のお題：10月30日(水) 31日(木) (遠足) 「落ちる・落とす」
11月26日(火) 「鍵」
12月23日(月) 「餌・えさ・エサ」
1月27日(月) 「燃える・燃やす」